

各位

会社名 株式会社ブリヂストン
代表者 取締役 代表執行役 Global CEO
石橋 秀一
(コード：5108 東証プライム、福証)
問合せ先 IR部長 佐治 健太郎
(TEL. 03-6836-3100)

当社グループ会社のロシア事業の譲渡に関するお知らせ

当社は、当社グループ会社のロシア事業の譲渡について検討を開始しましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 当社グループ会社のロシア事業の譲渡の検討背景・概要

ブリヂストングループ（以下ブリヂストン）は、ロシアにおける供給の課題など先行きが不透明な中、従業員・お客様・サプライヤーの皆様を念頭に、事態を慎重且つ総合的に熟考した結果、現地事業主へロシア事業を譲渡するべく検討を開始しました。

ブリヂストンは、1998年にロシアで本格的に事業を開始し、欧州グループ会社ブリヂストン ヨーロッパ エヌヴィー エスエー管轄のもと乗用車用タイヤ工場（在：ウリヤノフスク）と販売会社（在：モスクワ）を運営してきましたが、本年3月にロシア乗用車用タイヤ工場の稼働停止と新規設備投資の凍結、並びにロシア向けタイヤ輸出の停止について決定しております。

従業員は乗用車用タイヤ工場と販売会社を合わせて約1,000名で、3月の決定以降も、給与の支払いや福利厚生を提供を続けています。今後も当社の企業コミットメント「Bridgestone E8 Commitment（ブリヂストンイーエイトコミットメント）」を軸として、従業員の長年にわたるロシア事業への貢献に深く感謝し、支援を継続していきます。

尚、現時点では、譲渡先が決まり、譲渡の手続きが完了するまでには数ヶ月程度かかると見込んでいます。

ブリヂストンのグループ全体におけるロシア事業の売上収益は約2%弱です。

2. 業績への影響

2022年第2四半期決算においてロシア事業関連損失（主に固定資産減損、棚卸資産評価減）として、すでに168億円の損失（調整項目）を計上しておりますが、本件により追加で撤退に関するロシア事業関連損失が発生する予定です。

本件追加損失が当期の連結業績見込に与える影響については、算出可能になり次第速やかに開示します。尚、本件による年間業績予想の変更はありません。

以上